



城崎温泉街交通社会実験報告会の開催

～歩行者空間化の効果・課題と、これからの城崎温泉のまちづくり～

2025 年 11 月 13 日（木）～16 日（日）の 4 日間、県事業の（主）豊岡竹野線「桃島バイパス」完成時を見据え、城崎温泉街の道路を歩行者空間化する交通社会実験を実施した。その後、学識者の協力のもと、実験による交通状況の変化や歩行者動線への影響などのデータを分析し、実験の効果と今後の課題などについて整理を進めてきた。

この度、城崎地域の住民を対象に実験結果を説明すると共に、今後のまちづくりの展開について意見交換を行うため「城崎温泉交通社会実験報告会」を開催する。

1 城崎温泉街 交通社会実験 報告会

(1) 報告会の概要

ア 日時

2026 年 9 月 13 日（日）午後 1 時～3 時 15 分

イ 会場

西村屋招月庭「白陽」^{はくよう}（豊岡市城崎町湯島 1016-2）

ウ 内容

- (ア) 社会実験概要説明
- (イ) 社会実験結果説明
- (ウ) クロストーク「これからの城崎温泉の交通とまちづくり」

登壇者：東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授 ^{でぐち}出口 ^{あつし}敦

豊岡市長 門間 雄司

北但大震災復興 100 年記念プロジェクト実行委員長 ^{にしむら}西村 ^{そういちろう}総一郎

※出演者は現段階の予定。変更となる場合あり。

エ 主催者

城崎温泉交通社会実験実行委員会（事務局：豊岡市、榎湯のまち城崎）

オ その他

- (ア) 参加には、会場準備の都合上、右の二次元バーコードより申し込みください。
- (イ) 申し込み締切 9 月 8 日（火）



(2) 城崎温泉交通社会実験の概要

ア 実験の背景

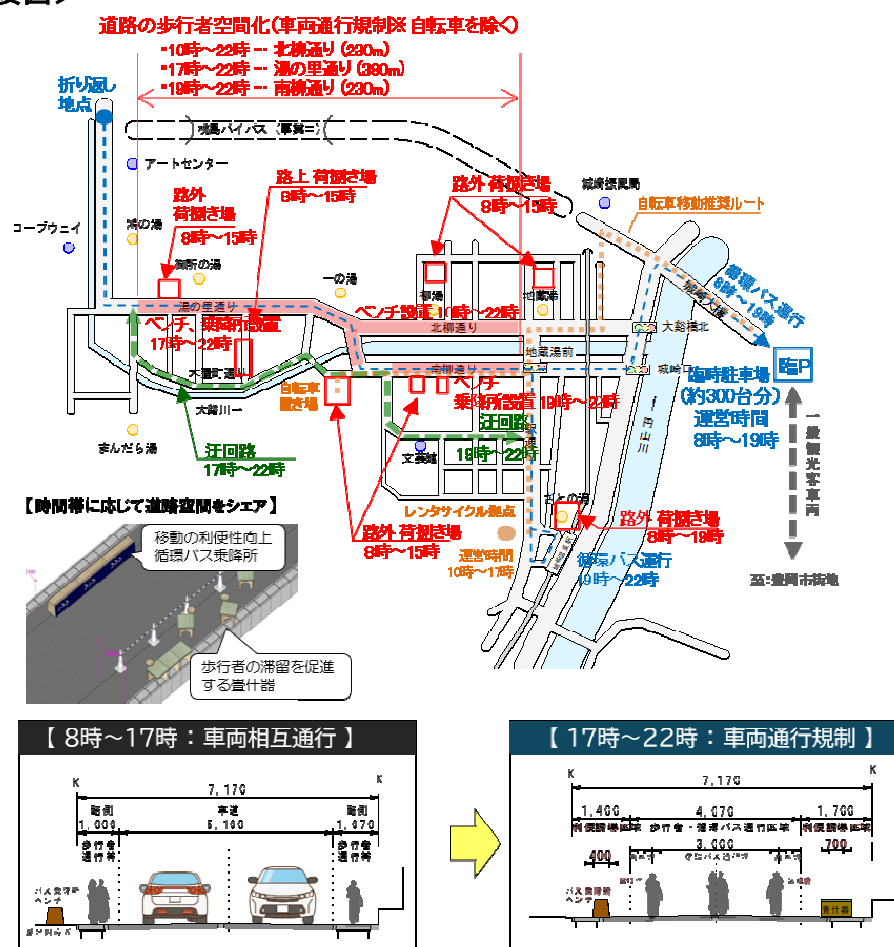
- (ア) 車と歩行者が錯綜するため事故の発生リスクが高く、歩行者が危険を感じている。
- (イ) 歩行者交通量に対する歩道幅員と休憩施設が不足している。

- (ウ) 路上駐車が頻発し円滑かつ安全な交通が阻害している。

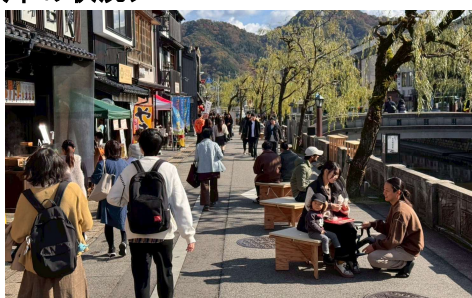
イ 実験の内容

- (ア) 時間帯に応じた通行規制や、歩行者の道路での滞在を促す什器の設置などによる「道路空間の再配分」により、道路での新たな賑わいの創出に資する効果を検証する。
- (イ) 歩行者空間化した道路での循環バスの運行などにより、移動の利便性と安全対策に関する効果を検証する。
- (ウ) 荷捌き場を面的に設置し、運用上の課題の抽出や路上駐車削減のための効果を検証する。

<実験の概要図>



<実験中の状況>



〔量什器で休息する歩行者（北柳通り）〕



〔道路全体に広がって歩く人々（湯の里通り）〕

〔問合せ〕 豊岡市都市整備部建設課 TEL0796-29-0010(直通)

担当 山崎、田中（内線 2444、2422）